

米市。これから本当の意味で
まります。

ちづくりの力



る住み良いまちに

津山産直組合に所属して
ますが、もくもくランドのイ
ベントなどに、市内のほかの
地域から、たくさんの方々に
足を運んでいただきました。
合併効果の表れだと思ってい
ます。今後もこれまで同様、
活気にあふれ人と人がふれあ
いの持てる住み良いまちに
なってもらいたいです。

■豊かな自然を後世に引き継ぐ市政

料金1000円の市民バスは、
高齢者や交通弱者にとって素
晴らしい制度だと思えます。
ゆつくり9町の景色を眺める
ことや地域交流もできます。
今後は都市開発だけでなく、
豊かな自然を後世に引き継ぐ
ような市政運営や、市民一人
ひとりを大切にするまちづく
りを目指してほしいです。

久光

昭男^{あきを}さん・68歳
(追町・茂栗下・農業)



■子どもたちの声が聞こえるまちに

市のほかの地域のイベント
や祭りの情報が広報紙を通し
て、市内全域に伝わっている
と思えます。そのおかげか、
登米の秋祭りは大勢の皆さん
に来ていただきました。子ど
もが遊べる公園や広場がたく
さんあれば、子どもたちの声
が聞こえる元気なまちになる
と思います。

吉田

正子^{まさこ}さん・18歳
(登米町・前小路・登米高3年)



■市民みんなで参加できるイベントを

市の駅伝大会になったこと
で、津山町の中学生と交流が
持てたので良かったです。市
内には、休日に遊ぶ場所が少
ないような気がします。公園
や大きな体育館などを造って
もらえれば、子どもやお年寄
りが集まれると思います。市
民みんなで参加できるイベン
トも考えてほしいです。

千葉

健人^{けんと}くん・15歳
(東和町・米川9区・東和中3年)



■若者の定住で活気あふれるまちづくり

合併前は上下水道の料金請
求が別々でしたが、ひとつに
なったことで納付が楽になり
ました。医療体制充実のため、
高度な知識や技術をもった専
門医を招いてほしいです。ま
た、若い人たちが定住し、活
気あふれるまちづくりが実現
できるよう、働く場の確保も
必要だと思えます。

菅原

祐子^{ゆうこ}さん・53歳
(中田町・表・主婦)



■子どもの医療費助成期間を独自に延長しては



佐々木 寛之さん・33歳
(豊里町・横町・会社員)

子どもがバスケットボールをしていますが、スポーツを通して健全に育てるためにも、より地域に密着した活動や指導者の育成を望みます。また、市内の公共事業促進にも期待します。子どもの医療費助成・児童手当支給期間を、市独自で中学終了時まで延長してもらえればうれしいです。

■乳幼児の病気、けがの応急手当講習会開催を



柴田 みわ子さん・28歳
(米山町・砥落・主婦)

3人の子どもがいますが、合併によって保育料が値下げされたことがうれしいです。その分は、違った部分の子育てに充てています。また、保育園の昼食メニューも増えて、地元産の野菜などが多く使われるようになりました。乳幼児の病気、けがの応急手当講習会を開催してほしいです。

■年中練習ができる室内プールを造ってほしい



阿部 禅くん・12歳
(石越町・第2区・石越小6年)

9万人を超える市の市民になれたことがうれしいです。将来は、海上保安庁に入りたいので、市内に大学や専門学校ができればいいと思います。スポーツは水泳をしています。市内には1年を通して練習できる場所が少ないので、たくさん室内プールを造ってほしいです。

■いつまでも心のつながりがある温かいまちで



菊地 としえさん・73歳
(南方町・北本郷・主婦)

これまでは、町域ごとのボランティア友の会活動でしたが、先日全体で防災訓練を実施したところ、各町域から10人ずつ集まりました。大変好評で、参加した方々と交流が深まり一体感が沸きました。いつまでも地域の皆さんと心のつながりが持てる、温かいまちづくりに期待します。

第3章
人力

九つがひとつになった登
まちづくりへの挑戦が始

市民の声はま



■人と人がふれあいが持つ



阿部 和美さん・48歳
(津山町・西下在・会社員)